

## 愛玩動物の適正飼養管理について考える

Japan Pet Care Association

～人もペットも元気で心豊かに暮らすには～

この度、平成21年5月30日(土)、ベルサール九段イベントホール(東京都千代田区)にて開催した、本協会設立30周年記念シンポジウム「愛玩動物の適正飼養管理について考える ～人もペットも元気で心豊かに暮らすには～」の内容を『日本愛玩動物協会設立30周年記念シンポジウム記録集』として刊行いたしました。

機関誌『愛玩動物』でも、1月号から4回にわたり、その内容をご紹介します。



- ◆本誌(平成22年3月号〈212号〉)掲載 \_\_\_\_\_  
・猫の適正飼養管理/ジャクリーヌ・ムネラ
- ◆次号以降の掲載予定 \_\_\_\_\_  
・小動物の適正飼養管理/斉藤 久美子…5月号(213号)  
・鳥の適正飼養管理/ケン・マッコート…7月号(214号)
- ◆過去の掲載 \_\_\_\_\_  
・設立30周年記念シンポジウムの開催にあたって/  
公益社団法人日本愛玩動物協会会長 小川 益男  
・愛玩動物の適正飼養管理とは/山崎 恵子  
・犬の適正飼養管理/水越 美奈…1月号(211号)

## 猫の適正飼養管理



## ジャクリーヌ・ムネラ

米国フロリダ州のコーティアス・ケーナイン株式会社で、飼い猫や飼い犬と仲良くする方法を学びたい人々を指導。IAABC (International Association of Animal Behavior Consultants・世界動物行動コンサルタント協会)が認定する猫行動学のコンサルタントであり、コンパニオン・アニマル・インスティテュートの猫行動学プログラムの講師を務める。また、自身もニュー・カレッジ・オブ・フロリダのフルタイムの学生として、動物(主に猫)の認識作用と行動の研究を進めている。特に動物保護団体の施設で保護されている猫への支援に関心があり、施設より引き取ったジャズマンダは、デルタ協会のペット・パートナーとして登録されたタンパ・ベイ地区で最初の猫である。またジャクリーヌとジャズマンダは、難関とされているケイ・ローレンス氏のクリッカー・トレーニング実技試験である適性検査プログラム(CAP)のレベル2を突破した世界初の人と猫のチームである。ジャクリーヌが引き取ったもう1頭の猫ベドロは、2007年カレン・プライヤー犬映画祭の猫部門で優勝した「アングル・アタック」というクリッカー・トレーニング・ビデオに主演している。

イエネコは柔軟性に富んだ行動を特徴とする種で、素晴らしいペットとなる可能性もっています。ただし、飼い主となる家族は、猫に対して心地よい環境、適切な心身の刺激、栄養のある食事、そして交流の機会を提供しなければなりません。飼い猫に対するこうした要件については、さまざまな方法を通じて、楽しみながら満たしていくことができます。



## 1. あなたに合った猫を選ぶ

最初やるべきことは、あなたに合った猫を見つけることです。新しい家族の一員として家に迎え入れる猫を探し出すときは、検討すべき要因がたくさんあります。すでに家庭で猫を飼っている場合は、その猫が家庭にどのくらい馴染んでいるか、また猫のニーズがどの程度満たされているのかを判断するための評価を行う必要があります。

あなたに合った猫を見つけるためには、猫に何を求めているかを決定しなければなりません。猫とどのように付き合いたいのか。抱き

しめたくなるほど可愛く、一緒にリラックスできる家族が欲しいのか、あるいは、元気一杯の遊び友達が欲しいのか、などです。また、従来は犬の活動と考えられていた分野においても、猫の人気は高まりつつあります。人間のパートナーと一緒に老人ホームや学校、病院などの施設を訪問するなど、猫の活動領域は動物介在療法や動物介在活動の分野にまで広がっています。仮に、あなたがこうした活動への参加を望むのならば、社交性が高く、さまざまな施設への訪問を苦にせず、騒ぎに巻き込まれても落ち着いていられる猫を飼う必要があるでしょう。猫の品評会は人気が高く、一般的に、猫の外見、容姿、性格などが競い合う基準となります。ほとんどの品種が参加できますが、品評会を主催する団体によっては、保護された雑種の猫などが除外される場合もあります。性格については、通常は一般に認識されている種の基準に基づいて評価が行われます。したがって、各品種の最も望ましい特徴について検討を行った上で、あなたのライフスタイルに最も適した猫を選びましょう。忘れてはならないのは、種の特徴とは、あくまでもその種独自の傾向のことをいい、猫それぞれの性格や個性を確実に示すものではないことです。そのほか、猫のアジリティの人気や競技のレベルは高まりつつあることもあげられます。猫と一緒にアジリティ競技への参加を望む場合には、多くの要因を検討しなければなりません。スピード、柔軟性、



そして積極的で自信に満ちた性格が、アジリティ競技に適した猫の好ましい特徴であると思われます。あなたが猫と一緒に参加したと考える活動は、それ以外にもたくさん見つかるはずです。



そのほかにも、ペットを飼っているか、子どもはいるか、また子どもの活動レベルはどうか、家を空ける時間はどのくらいか、家族一人一人の活動全般はどうか、といった家庭での現在のライフスタイルを判断することも重要になります。猫によっては、猫の友達の方が良い場合もありますし、犬の友達の方が良い場合もあります。子猫の時期の交流体験によって他者を受け入れる許容度に差が表れますが、それだけが社交性の決定要因ではありません。適切な引き合わせやトレーニング方法によって、家庭での複数のペット飼養の成功率は大きく上がります。また、以前飼われていた家庭と新しく迎え入れられた家庭とで、動物の家族構成がよく似ていて、かつうまくやっていけたという経験をもっている猫であれば、新しい家庭にはすんなりと馴染むかもしれません。

ライフスタイルもまた、猫がどの程度家庭に馴染むかを左右する要因となります。一日の大半が、あなたは仕事に、お子さんは学校に行っていて、家にいるのが猫だけとなるのであれば、社交的な猫は大変寂しがらざるはず。特に、他者との触れ合いを通じて適切な体験を積み重ねなければならぬ子猫については、長時間、ひとりぼっちにしておくべきではありません。また、子猫に対しては、我慢強さとペースを合わせてやる努力が必要です。一方、成猫で、より独立性の強い猫の場合は、人間との触れ合いは少なくとも構わないものの、やはり退屈な環境の中で一日中ひとりぼっちにしておくのは望ましいことではありません。また、豊かな触れ合いを望み、猫を全くひとりぼっちにしておけない人にとって、こういった独立性の強い猫は友達として適切ではないかもしれません。子どもたちにとっては、一般に穏やかで、寛容な成猫が最適な友達となります。しかし、子猫にも子どもの最適な友達となる可能性がない訳ではありません。きちんと子猫を扱うことができる子どももいますし、子猫のしつけと世話を楽しんでできる子どももいます。このように、猫と人間のそれぞれの要因は、家族のライフスタイルと同様に、どんな猫が最も相応しいかを判断するためのヒントとなるはずです。

## 2. 室内飼いの猫に必要な心身のケア

自分に合った猫を選んだら、あるいは飼いはじめたら、家の中で猫がハッピーでいられるようにするにはどうすればいいか考えましょう。不満を抱えた猫はその感情を示すはずですし、猫が不満であれば、人間の方も楽しくはなくなってしまうことが往々です。何も楽しいことがないのに、ただ一日中家で座っていることがいかに退屈であるか、ぜひ考えてみてください。一日だけなら悪くはないかもしれませんが、来る日も来る日も何もやることのないことを想像してください。おそらくあなたがソファを引っ掻きはじめるとは違いありません。

猫はもともと狩猟を行う肉食動物です。肉食動物は単なる狩猟



旭化成「プラス・にゃん」の家

本能からではなく、心身ともに健康であるために狩猟を行います。だからといって、鳥類やリス類などの野生動物を殺すことを許してもいいという訳ではありません。そうではなく、それに代わる心身の刺激を提供することが飼い主の役目となります。

### (1) 猫を楽しませる方法

猫を楽しませるには、受動的な方法と能動的な方法の主に2つの方法があります。受動的な方法には、猫にとって心地よい環境作りを行うために、創造的なアイデアが求められます。簡単なアイデアとしては、窓の外に鳥やリスの餌箱を吊して、餌箱にやってきた動物を猫が観察できるようにしたり、頑丈な爪とぎを与えたり、箱や紙袋、クシャクシャにしたダイレクトメールなどの目新しい物を環境に加えたりする方法があります。また、家の中のあちこちにちよつとした食べ物を隠すことで、猫に愉快的な宝探しをさせてやれば、猫は大事なことに気づくでしょう。「ボウルからいつでも食事ができるなんて退屈だ!」と。

能動的な方法では、飼い主が猫と一緒に遊んであげる必要があります。これは、猫がハッピーでいられるようにするために、毎日欠かせないことです。ただし、荒っぽい遊び方をすれば、猫が攻撃的になって、飼い主の手を噛んだり、引っ掻いたりする恐れがありますので、適切な猫との遊び方を知っておく必要があります。猫と遊ぶための最適なおもちゃには、釣り竿型のおもちゃがあります。これなら、猫から手を離れた状態で、おもちゃの先にぶらさがっている物にじゃれつかせることができます。猫がおもちゃに忍びより、じゃれつき、とどめを刺した後、ごほうびとして猫に食べ物を与えるとよいでしょう。そうすれば、猫は実際に狩りに成功したときのように、獲物を手に入れるという満足感が得られるのです。

### (2) クリッカー・トレーニング(Clicker Training)

積極的に猫の気持ちを捉えるもう1つの方法は、ウェーブ(前足で波のまねをさせる)、死んだふり、ぐるぐる回りなど思いつく限りの楽しい芸を猫にトレーニングすることです。猫に新しい芸を教えるときは、一般にご褒美として食べ物を与えますので、猫が好きな食べ物を知っておく必要があります。猫の行動上の問題を防止したり、解決したりするためには、クリッカー・トレーニングのような陽性強化のト



講演「猫の適正飼養管理」を行うジャクリーヌ・ムネラ氏

レーニング法を利用することもできます。また、問題行動に対する直接的なトレーニングに集中する以外に、一般に猫を精神的に豊かな状態にすることで、不安に基づく行動や攻撃的な行動を減少させることができることも認識しておく必要があるでしょう。猫は怠け者ではなく、狩猟動物として進化してきました。ウェーブや死んだふり、寝返りやスケートボード乗りなど、一見取るに足りない芸を訓練することも、本来は狩猟活動中に経験する、猫にとって必要な精神的刺激を提供する手段となります。

クリック・トレーニングでは、カチツという合図の後に、猫が進んで欲しがら強化因子を与えます。次に、この合図を利用して、特定の行動を行えば、ご褒美がもらえることを猫に教え込みます。強化された行動を頻繁に行うようになれば、家族が好ましくないと考えられる行動を新しい行動に置き換えることができます。ただし、こうした行動の多くは、イエネコにとっては全く正常な行動であって、猫の精神的または身体的な健康のために欠かせない場合もあります。たとえば、高い所へのジャンプは猫の自然な行動ですが、猫がカウンターの上ではしゃぎ回るのを嫌う人間は少なくありません。家具を引っ掻くのも猫にとっては全く自然な行動のひとつですが、人間は不思議なことに、そうされることを嫌がります。クリック・トレーニングを利用すれば、こうした行動やその他、好ましくない行動に代



討論でのジャクリーヌ・ムネラ氏

わる別の行動を猫に教え込むことができます。

猫へのトレーニングの第一歩は、あなたが望む行動と望まない行動とを具体的に区別することから始まります。猫に望まない行動が見られるのであれば、それに代わるどんな行動を猫にさせるか決めなければなりません。また、この代替的な行動は少なくとも、あなたが止めさせようとしている行動と同じ程度に猫が満足感を得ら

れる行動でなければなりません。次に、猫に好ましい行動を覚えさせる手順をだまかに頭に描きます。プロンプティング(prompting)〔ターゲティング(targeting)、ルアリング(luring)など〕、キャプチャリング(capturing)、シェイピング(shaping)、あるいはその組み合わせを利用し、猫に新しい行動を分かりやすく示し、楽しいやり取りを続けながら、猫のペースに合わせたトレーニングを進めていきます。古い行動を止めさせるか、あるいは、その満足感を薄めながら、代わりとなる新しい行動を教えていきます。たとえば、家にいるほかの猫を攻撃する代わりに、マットの上に座ることを教える場合、トレーニング中を除いては、2頭の猫がじゃれ合うことがないようにします。こうすることで、問題行動の習慣化と増幅が抑えられ、新たな行動の学習が成功する機会が高まることになります。



楽しさと訓練は両立しないと考える人もいますが、クリック・トレーニングを実施する場合は、これには当てはまりません。犬の問題行動の矯正を扱った多くの書籍には、犬の行動を変える方法として、クリック・トレーニングを推奨する、という記載があります。これは、有効な方法がほかにあるにもかかわらず、それを試そうともしないで体罰に依存していた以前の手法からの大転換といえるでしょう。根底にある猫の感情をポジティブな方法で変えながら、攻撃行動、恐怖心からくる行動、不適切な行動などにとって代わる新しい行動をクリック・トレーニングを使って教えることは、猫にとって良いことでもあります。クリック・トレーニングは、特に猫が人の関心を引くためにソファを引っ掻くなど、不適切に学習された行動に代わる行動を教え込むために使用すれば、その効果を発揮するはずで、精神的な刺激となり、人間と猫との絆を強める楽しい方法を通じて、人の関心を引く、より適切な行動を猫に教えることができます。猫に大声で怒鳴ったり、水を浴びせかけたりするよりも、遥かに楽しく、しかも効果的なのです。

### (3) ハズバンドリー (ケア・管理)・トレーニング (Husbandry Training)

グルーミングや動物病院での受診などに備えて日頃からハズバンドリー (ケア・管理)・トレーニングをしておくことで、人間と猫とのストレスは大きく軽減されます。これは猫にとって恐怖心や不快感を伴う活動も、何でもない体験やポジティブな体験へと変えられるためです。扱いがとても難しい猫だったり、キャリーバッグに入れる際に暴れたり、車の中でパニックになったりする猫の場合、本来ならもっと頻繁に動物病院へ連れて行かれなければならないのにあまり連れて行かれないか、最悪の場合、一度も連れて行かれないかもしれません。したがって、こうした猫は予防接種、健康診断、血液検査、歯の手入れといった予防獣医療を受ける機会がほかの猫に比べて遥かに少なくなります。そのため、早期であれば治療可能な病気も、重症化し、治療が不可能な状態になるまで発見されない恐れがあります。クリック・トレーニングを行えば、猫はいやいや病院へ連れてこられた犠牲者ではなく、積極的にコミュニケーション



ンの取りやすい協力者となってくれるのです。

このハズバンダリー・トレーニングを行う第1段階として、あなたが猫に望む特定の行動(一連の行動でもよい)を決め、目標を達成するための計画作りを行います。シェイピングとは、最終的に望まれる行動に近づけていくための段階的な強化を施すプロセスをいい、ハズバンダリー・トレーニングに最も利用されている方法です。猫にとってストレスのない段階からトレーニング計画をスタートさせ、猫がその段階のトレーニングを完全に習得してから次の段階へ進むことが肝要です。猫が習得できているかどうかは、猫がそのトレーニングに引き込まれ、興味をもち、ストレスを感じていない、という状態を保ちながら、現段階のトレーニングを複数回上手く繰り返すことができているかどうかによって判断します。上手く繰り返すことができない場合は、1段階下げて、計画を練り直さなければなりません。このような場合は、スタート・ポイントが猫の現状の能力に合ったものではない、トレーニングが明確でない、段階と段階の間に開きがありすぎる、あるいはあなたの要求を猫が理解する上で何らかの障害がある等の理由が考えられます。猫が何度も失敗を繰り返す場合は、あなただけでなく猫のフラストレーションも高まる恐れがありますので、計画を中止してください。このような状況では、猫にトレーニングは楽しいことだと教えることはできませんし、あなたの目標達成への道を閉ざしてしまいます。トレーニング中のフラストレーションが学習の役に立つ場合もありますが、不快だったり、恐怖を感じたりする

ような状況や作業を良い体験に変えるのが目標であれば、フラストレーションは逆効果となってしまいます。トレーニングをゲームと考えて、楽しいものにしましょう。

猫であれ、ほかの動物であれ、コンパニオン・アニマルと人のどちらかが我慢するのではなく、共に平和に暮らせる方法はいくつでもあります。家族にとっての最適な調和を実現するためには、1頭1頭の動物の個性とニーズを考える必要があります。猫の精神的および身体的ニーズに応えることは、放っておけばストレスや家庭の不和の原因ともなり得るさまざまな問題行動を防ぐために役立つはずで



討論の様子

### ● 参考資料 ●

- Cat-click yahoo group <http://pets.groups.yahoo.com/group/Cat-Clicker/>
  - International Association of Animal Behavior Consultants [www.IAABC.org](http://www.IAABC.org)
  - Control Unleashed book and DVD by Leslie McDevitt. [www.controlunleashed.net](http://www.controlunleashed.net)
  - Cat Training in 10 minutes by Miriam Fields-Babineau (書籍)
  - Pet friendly modular housing and architectural design  
<http://www.moderncat.net/2008/10/08/unbelievable-cat-friendly-house-design-from-japan/>
  - Donna Hill [www.youtube.com/user/supernaturalbc2008](http://www.youtube.com/user/supernaturalbc2008)
  - Companion Animal Sciences Institute <http://www.casinstitute.com/>
  - International Association of Animal Behavior Consultants  
<http://www.associationofanimalbehaviorprofessionals.com/>
  - Feline Agility Group FAC-Training@yahoo.com
  - Karen Pryor's clicker training website [www.clickertraining.com](http://www.clickertraining.com)
  - Jongman, E. C. (2007). Adaptation of domestic cats to confinement. *Journal of Veterinary Behavior: Clinical Applications and Research*, 2(6), 193-196.
- 講演を行うにあたり協力いただいたトレーナーと、彼らがクリッカーを使用してトレーニングした猫(猫はシンポジウムで披露されたビデオ映像に登場)
- Mikel Delgado [www.felineminds.com](http://www.felineminds.com)  
— 猫: Beanie & Clarabelle
  - Sue "Suji" Gilsdorf [suji53@yahoo.com](mailto:suji53@yahoo.com)  
— 猫: Taveets, Tazzie, Ratuie with Sky-dog
  - Joby Gorchoff [www.prrfectpets.com](http://www.prrfectpets.com)  
— 猫: Rosy, Marble & Violet
  - Cheryl Kolus  
— 猫: Peanut
  - Ayala Naor [www.ayalanaor.com](http://www.ayalanaor.com) (ヘブライ語のみ)  
— 猫: Panda & Xusha
  - Contributing Trainers
  - Jacqueline Munera [www.courteouscanine.com](http://www.courteouscanine.com)  
— 猫: Khamelian, Jazzmanda, Marleene & Pedro  
— 犬: Hurricane Zen & Mia
  - Aase Lange <http://www.youtube.com/watch?v=nMPLWdMsN6g>  
— 猫: Sherlock and Hatshput